第 15 章
豊後大野市の林業

●現状と課題

本市の森林面積は約 44,659ha で、市の総面積の約 74% を占めています。

このうち人工林面積は約 16,387ha であり、そのうち適正伐期齢を過ぎた 9 ～ 12 齢級の人工林面積は約 7,884ha と、市内人工林面積の約 48% を占めています。このことから、齢級構成に偏りが見られる状況となっています。

また、小規模な林家が多く、経営規模 5ha 以下の森林所有者が全体の 94% を占めています。さらに、森林所有者の高齢化や相続者の市外居住等により、林業への関心が低下しており、適切な経営・管理が行なわれていない未整備森林が多く存在しています。

●全国植樹祭・全国育樹祭

平成 12（2000）年 4 月に第 51 回全国植樹祭が大野町にある「大分県県民の森 平成森林公園」にて開催されました。式典には、天皇皇后両陛下がご臨席され、アカガシ等の樹木をお手植えされました。

令和 4（2022）年 11 月に第 45 回全国育樹祭 お手入れ行事が「大分県県民の森 平成森林公園」にて開催されました。お手入れ行事では秋篠宮皇嗣同妃両殿下によるお手入れ(枝打ち･施肥）が行われました。また、大野小学校みどりの少年団の皆さんが、両殿下の補助役を務めました。

●森林環境譲与税を活用した林業振興の取組

平成31（2019）年3月に森林環境譲与税が創設され、森林整備を始め、担い手支援、木材利用の促進、普及啓発等に活用しています。

森林整備については、未整備森林の間伐や大径化クヌギ林の整備等を実施しています。

担い手支援については、認定林業事業体に対する機械補助や研修に対する補助等を実施しています。

木材利用の促進については、公共施設や観光施設等での地域材利用に森林環境譲与税を活用しています。

普及啓発については、市内の小中学校の生徒を対象に、木育授業や林業就業体験等を実施しています。



未整備森林の切捨間伐



森林環境譲与税で整備されたあずま屋（大原総合公園内）

●乾(ほし)しいたけ

本市は、総面積の約 74%が森林で、良質なクヌギ林が広がっています。豊富なクヌギをしいたけのほだ木として使用し、古来よりしいたけ栽培が盛んに行われてきました。

しいたけは乾燥させることで、旨味や香り、栄養価が凝縮されます。乾しいたけの栽培は農薬や化学肥料などの添加物は一切使わず、自然に近い方法で行っており、安心安全な健康食品として国内外から注目されています。

大分県の乾しいたけは、国内生産量の約4割を占め、第72回全国乾椎茸品評会では26年連続・通算58回目の団体優勝を果たすなど品質・生産量ともに日本一を誇ります。

その中でも豊後大野市は、最高賞である農林水産大臣賞や林野庁長官賞の受賞者を毎年輩出しており、最高品質の乾しいたけを生産しています。



特産品の乾しいたけ

●豊後大野市椎茸振興会の取組

平成18（2006）年2月8日に各町の椎茸振興会等の組織を統合し、豊後大野市椎茸振興会を設立しました。市椎茸振興会は、生産者相互の連携を深め、栽培技術の向上や経営の改善を目的として活動しています。

技術向上や生産意欲を喚起するため、毎年、市乾椎茸品評会を開催しています。大分県や全国の品評会への出品に繋がり、多くの生産者が上位入賞を果たしています。

乾しいたけの魅力や消費拡大に繋げるため、市内小学校で「しいたけ教室」を開催しています。駒打ち体験やほだ起こし体験、乾しいたけの水戻し体験など、生産者から直接、原木しいたけの栽培方法を学び、地域の主要産業に対する理解を深めています。

また、令和2（2020）年度から学校給食に「乾しいたけ」を贈呈しており、若い世代へ市の特産品である原木しいたけの美味しさや魅力を伝えています。



しいたけの駒打ち体験の様子

●全国乾(ほし)しいたけ振興大会

全国乾しいたけ振興大会は、乾しいたけの品質向上、生産者の技術向上および消費拡大等を目的として開催され、全国各地から乾しいたけの生産関係者が集まります。

本市では、これまでに3回開催地となっており、豊後大野市産の優れた乾しいたけの魅力を全国に発信しています。

平成19（2007）年7月7日～8日の2日間、豊後大野市総合文化センター（エイトピアおおの）にて、2007年全国乾しいたけ振興大会を開催しました。あわせて、第55回全国乾椎茸品評会表彰式及び森喜作賞表彰式が行われ、市内では農林水産大臣賞1名、林野庁長官賞6名、森喜作賞に三重町の生産者でつくる「日本一のなば山師になろう会（現：日本一のなば山師会）」が表彰されました。県内外から乾しいたけ生産者等が参加し、2日間で約5,000人が来場しました。

平成24（2012）年7月7日～8日の2日間、豊後大野市総合文化センター（エイトピアおおの）にて、2回目となる2012年全国乾しいたけ振興大会を開催しました。あわせて、第60回全国乾椎茸品評会表彰式が行われ、市内から農林水産大臣賞1名、林野庁長官賞6

名が表彰されました。テーマは、「継承（つなぐ）～味、技、安心と安全・日本産しいたけの明日へ向けて～」とし、平成23（2011）年3月の東日本大震災による原発事故に苦しむ関東以北の生産者の復興を願い、国産乾しいたけの増産に取り組もうという強い思いが込められました。2日間で県内外から約6,000人が来場しました。

平成29（2017）年7月8日～9日の2日間、3回目となる2017年全国乾しいたけ振興大会を開催しました。あわせて行われた第65回全国乾椎茸品評会表彰式では、市内から農林水産大臣賞2名、林野庁長官賞5名が表彰されました。2日間で県内外から約6,000人が来場しました。